



内閣総理大臣表彰

経済産業省推薦

特定非営利活動法人

カラー ユニバーサル デザイン オーガニゼーション
Color Universal Design Organization

クドー
(略称: CUDO、日本語名称: カラーユニバーサルデザイン機構)

(東京都千代田区)

色覚の多様性に配慮し、できるだけ多くの人に分かりやすい適正な視覚情報づくりを行うカラーユニバーサルデザイン(CUD)を推進している。特に300万人を超える色弱者への対応を活動中心軸とし、色弱者本人によるCUDモニター・検証事業、印刷物を始め地図、案内図などへの認証マーク(CUDマーク)の発行、相談・助言、情報提供事業等を独自に行い、我が国におけるCUDの推進を先導し、普及に尽力。

多種多様な視覚情報があふれる現代社会において、色覚の多様性に配慮して、できる限り多くの人々に分かりやすい適正な視覚情報づくりのためのユニバーサルデザイン(カラーユニバーサルデザイン:CUD)の推進を先導して推進した。我が国で300万人以上いる色弱者を始めとする視覚情報弱者への支援を主に活動している。

具体的には、既存の製品や施設に対して、カラーユニバーサルデザイン(以下「CUD」

と言う。)の見地からの改善法の提案等を行うCUDのモニターと検証、モニター作業によってCUDが実現されたと確認できた場合、認証としてのCUDマークの発行、モニター作業に入る前の相談・助言、CUDに関する資料提供、CUDの普及開発や調査研究などを事業として行い、地図、路線図などの標示から、公共施設やホームページに至るまで、社会のさまざまな局面におけるCUDの普及に尽力した。



CUDマーク(カラーユニバーサルデザイン認証マーク)



内閣総理大臣表彰

経済産業省推薦

にほんりかがくこうぎょう

日本理化学工業株式会社

(神奈川県川崎市)

昭和 35 年に初めて知的障害者を雇用して以来、障害者にとっても働きやすい職場環境づくりに尽力し、現在、会社員 70 余名中 7 割に当たる重度を含む知的障害者が、責任を持って仕事に取り組む企業を実現。

また、製品開発にも積極的に取り組み、エコ商品としてのホタテ貝殻入りのダストレスチョークや、色弱者にも見やすい eye チョークは高く評価されている。

「人間の究極の幸せは働くことによって得られる。」との言葉を信条に、昭和 35 年以来、障害者が主軸となるチョークを主製品とした会社づくりに励んだ。昭和 50 年、川崎市に心身障害者多数雇用モデル工場第一号として川崎工場を設立、昭和 56 年には北海道美唄にもモデル工場を設置。現在では、全従業員 74 名のうち、55 名の知的障害者が、各自責任を持って働き（うち半分が重度障害者）、

チョークでは全国シェア 30%以上を占めるに至っている。

また、ホタテの貝殻の再生利用化を図り、グリーン購入法適合商品及び北海道リサイクルブランドの指定を受けているホタテ貝殻の微粉末入りのダストレスチョークを始め、カラーユニバーサルデザインに認定されている eye チョーク等、積極的に製品開発にも尽力している。



ユニバーサルデザイン認定「eye チョーク」



作業場

内閣府特命担当大臣表彰 優良賞

厚生労働省推薦



株式会社 サン工業

(京都府久御山町)

視覚障害者の自立歩行を支援する点字サイン（点字案内板、手すり用点字標示板等）を我が国で初めて開発し、実用化を図るとともに、全国への普及促進に努め、視覚障害者の社会参加に貢献。

1975（昭和50）年、京都市役所に第1号の点字案内板を設置した。その後、ユーザーである、視覚障害者団体からの強い要望により、全体の位置情報を知らせる点字案内板、移動に関する細かい補助情報を提供する点字標示板、手すりに現在位置や方向を示す矢印記号を付記した手すり点字標示板等を開発し、現在地を知らせるだけでなく、目的地へ辿り着くまでの経路を支援する誘導システムを確立した。本誘導システムは、京都市営地下鉄各駅構内に採用・設置され、現在の視覚障害者が安心して電車を利用できる情報・誘導システムのモデルとなった。その後、全

国で初めて地下街（京都駅前のポルタ地下街）に設置したほか、東京霞が関の「中央合同庁舎5号館」の各階に点字案内板による誘導システムを設置している。

視覚障害者への誘導システムが高く評価され、1986年に社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会（盲人用具部会）に入会し、視覚障害者および関係団体との情報交換を積極的に行い、視覚障害者が使いやすいように音声を組み込んだ点字案内板や手すり用音声案内装置の開発をはじめ、大阪市交通局と共同で、電車内の乗車位置標示板などを開発した。



印刷機



第1号の点字案内板